

参考2. 政策課題の現状

(1) 都道府県別要対策箇所一覧表

政策課題	生活幹線道路ネットワークの形成	渋滞対策	開かずの踏切等を除却する対策	耐震対策	防災・防雪対策	安心な市街地形成	交通事故対策
都道府県名	生活幹線道路 (単位:km)	日常的に混雑が発生している箇所 (単位:箇所)	踏切遮断により地域の円滑な交通に支障が生じている踏切 (単位:箇所)	大規模地震により通行不能となるおそれのある橋梁 (単位:橋)	落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩などのおそれのある区間 (単位:区間)	防災上の懸念がある市街地 (単位:km ²)	事故の発生割合の高い区間 (単位:区間)
	平成18年度末	平成18年	平成19年度末見込み	平成19年度末見込み	平成19年度末見込み	平成18年末	平成14年～平成17年の4年平均値
北海道	17,900	220	80	1,470	900	4	6,600
青森県	3,700	240	20	170	330	5	2,100
岩手県	4,900	100	10	300	610	2	1,500
宮城県	3,300	180	50	260	220	16	2,200
秋田県	3,600	90	20	270	350	2	1,200
山形県	3,500	140	10	240	260	1	2,300
福島県	6,000	200	20	440	950	4	3,900
茨城県	4,400	160	60	320	170	6	4,400
栃木県	3,400	100	80	210	120	3	3,200
群馬県	3,200	170	70	290	300	2	4,400
埼玉県	3,000	400	310	260	60	124	6,700
千葉県	3,600	340	210	330	320	96	5,200
東京都	2,100	860	580	200	170	350	8,700
神奈川県	2,000	770	320	140	170	263	6,100
山梨県	1,900	70	20	250	230	1	1,800
長野県	5,200	180	60	450	660	8	2,900
新潟県	6,300	160	40	490	540	6	3,600
富山県	2,500	80	40	250	90	1	2,200
石川県	2,300	100	30	180	250	4	2,000
岐阜県	4,400	180	100	410	450	2	2,900
静岡県	4,000	200	150	410	360	19	6,300
愛知県	4,800	580	380	700	440	30	8,800
三重県	3,700	110	160	400	420	4	2,700
福井県	2,200	30	30	120	290	1	1,400
滋賀県	2,300	90	40	160	250	6	2,500
京都府	2,700	120	130	160	400	54	2,700
大阪府	2,000	530	350	310	240	240	7,700
兵庫県	5,000	220	210	740	660	72	4,300
奈良県	2,000	90	120	130	340	14	1,700
和歌山県	2,500	80	40	240	500	6	2,000
鳥取県	2,100	70	10	120	100	2	800
島根県	3,300	50	10	280	610	1	1,000
岡山県	4,400	180	50	550	450	4	3,900
広島県	4,800	250	90	430	400	25	3,800
山口県	3,700	130	40	330	690	4	2,100
徳島県	2,500	80	10	180	230	3	1,700
香川県	1,800	60	40	140	70	2	2,700
愛媛県	3,700	100	40	270	420	8	2,300
高知県	3,200	70	10	340	540	4	1,400
福岡県	4,200	350	210	350	390	59	6,900
佐賀県	1,800	80	10	210	170	3	2,300
長崎県	2,700	100	10	140	440	13	1,600
熊本県	4,300	100	30	290	440	11	2,600
大分県	3,500	80	20	380	480	3	1,600
宮崎県	3,300	70	10	300	410	2	2,000
鹿児島県	5,100	80	30	190	350	5	2,900
沖縄県	1,400	80	0	100	130	14	1,100
全国計	170,000	9,000	4,300	15,000	17,000	1,500	150,000

注1) 政策課題の現状を踏まえ、対策を講じることに付いて検討が必要な箇所を都道府県ごとに示したものであり、この中から、中期計画で対策を行う箇所の選定を行う。

例としては、渋滞対策では、1/3程度(約3,000箇所)。

注2) 掲載している計数は概数である。

注3) 四捨五入の関係で、各計数の和が合計と一致しないところがある。

政策課題	通学路の歩道整備	踏切の安全対策	橋梁等の修繕・更新	騒音対策	バリアフリー化		無電柱化
					駅、官公庁施設、病院等を相互に連絡する道路(単位:km)	駅前広場(単位:箇所)	
都道府県名	多くの児童が利用するなど、事故の危険性の高い通学路(単位:km)	安全な通行に支障をきたすおそれのある踏切(単位:箇所)	全道路の橋梁(単位:橋)	夜間の環境基準を達成していない地域の国道、都道府県道(単位:km)	平成18年度末	平成18年度末	安全で快適な道路空間を形成する上で、電柱や電線類が特に支障となる道路(単位:km)
	平成18年4月	平成19年度末見込み	平成19年度末見込み	平成18年度	平成18年度末	平成18年度末	平成18年度末
北海道	9,200	290	12,700	440	370	30	390
青森県	1,700	90	1,700	30	70	5	50
岩手県	2,100	40	3,800	50	70	10	120
宮城県	3,000	90	2,400	140	160	40	110
秋田県	2,300	50	3,200	40	70	5	60
山形県	1,900	60	2,700	50	50	5	90
福島県	2,600	140	4,800	100	130	10	140
茨城県	3,100	110	2,700	300	150	40	230
栃木県	2,700	160	2,500	210	80	30	190
群馬県	2,400	150	3,000	200	110	10	120
埼玉県	3,000	410	2,900	290	350	170	400
千葉県	3,000	330	2,800	200	420	140	240
東京都	3,400	790	2,200	370	1,390	210	1,390
神奈川県	4,600	480	2,500	340	610	110	270
山梨県	1,200	50	2,000	90	70	5	50
長野県	2,100	130	4,800	30	150	10	220
新潟県	2,900	150	4,800	50	160	20	130
富山県	1,600	110	1,700	50	40	10	90
石川県	1,100	70	1,600	130	80	5	80
岐阜県	1,800	180	4,700	180	120	20	80
静岡県	3,400	240	4,600	360	170	40	200
愛知県	5,100	490	4,600	240	450	110	300
三重県	1,400	260	3,500	280	120	20	90
福井県	1,100	60	1,700	80	40	5	40
滋賀県	900	70	2,100	160	130	40	130
京都府	1,800	190	2,500	100	270	50	150
大阪府	4,600	430	2,700	340	800	200	310
兵庫県	2,700	370	6,100	270	430	110	190
奈良県	1,000	160	2,100	70	120	50	130
和歌山県	900	80	2,600	40	70	5	70
鳥取県	800	60	1,800	10	50	5	40
島根県	1,300	40	3,100	140	70	5	80
岡山県	2,400	130	3,400	120	110	20	80
広島県	3,400	180	4,100	250	170	30	180
山口県	1,600	120	2,700	110	80	10	110
徳島県	500	50	2,100	30	50	5	50
香川県	800	60	1,300	80	60	5	40
愛媛県	1,700	140	2,600	140	80	5	100
高知県	1,200	30	2,700	10	60	5	30
福岡県	4,100	340	4,500	320	280	60	260
佐賀県	1,100	50	1,700	150	50	5	80
長崎県	1,600	50	1,800	70	90	10	80
熊本県	2,800	90	3,200	250	100	5	110
大分県	1,400	60	3,300	70	70	5	60
宮崎県	1,900	40	2,900	40	60	5	70
鹿児島県	3,000	80	2,500	150	110	5	90
沖縄県	2,900	0	600	30	60	5	80
全国計	110,000	7,700	150,000	7,000	8,800	1,700	7,600

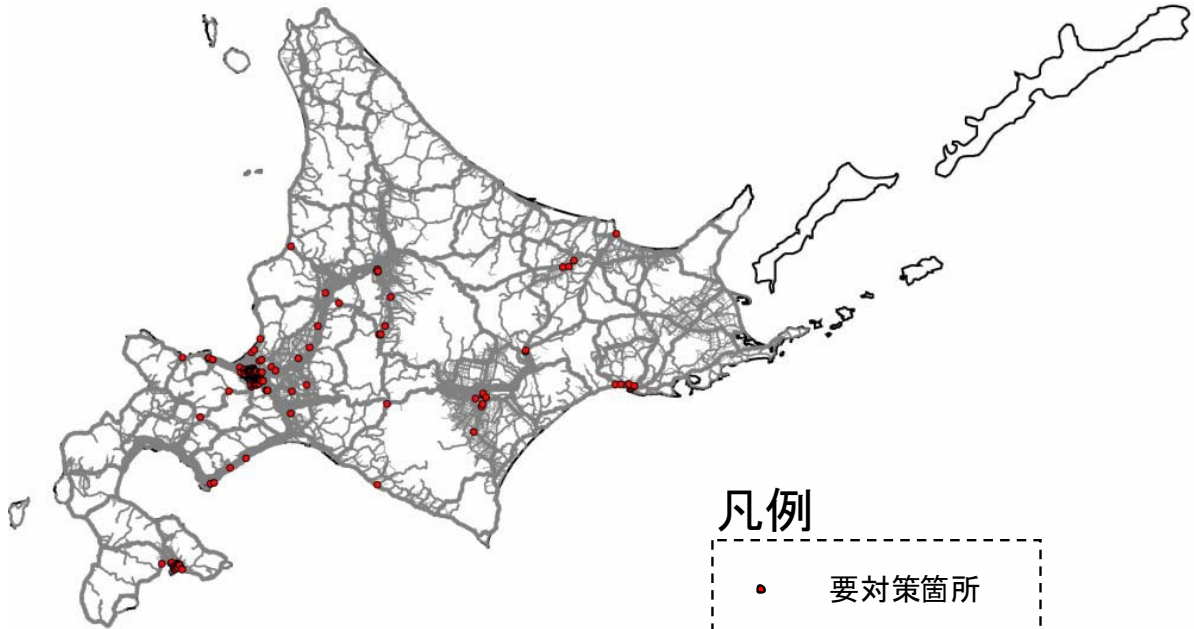
(2) 地域別課題箇所図

○ 渋滞対策、防災・防雪対策の各都道府県の現状

北海道

渋滞対策の要対策箇所(平成18年)

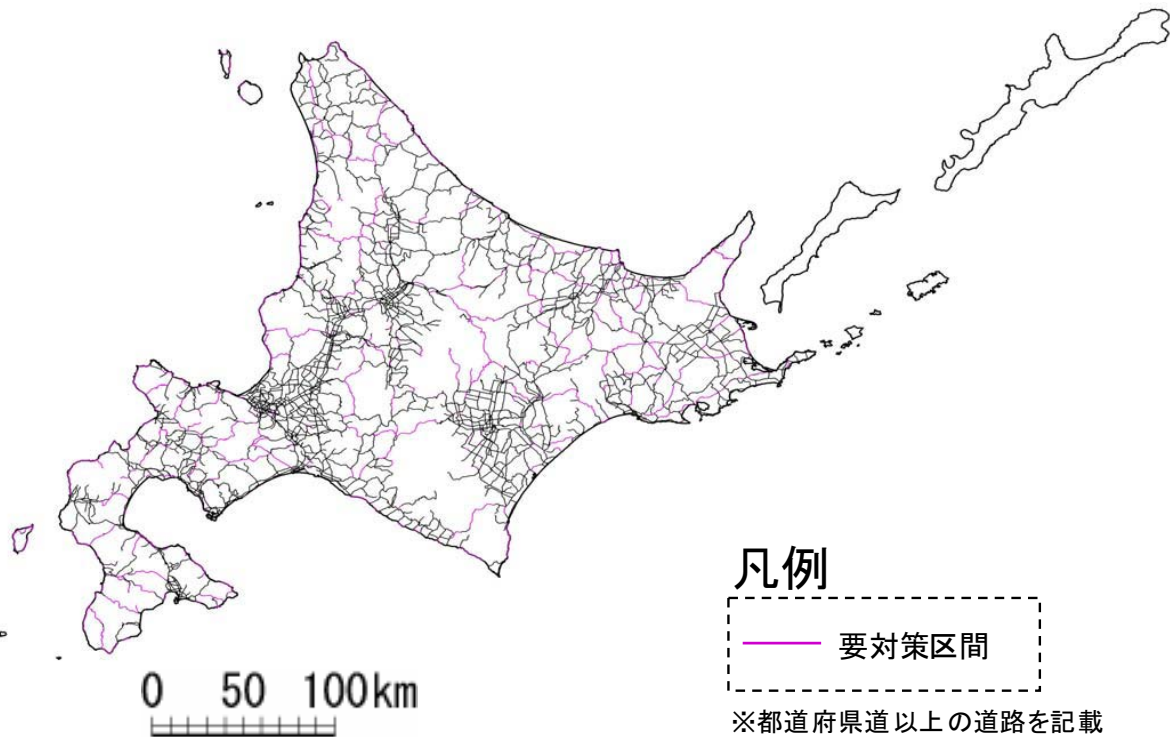
※渋滞対策の要対策箇所とは
日常的に混雑が発生している箇所である



※幅員が5.5m以上の道路を記載

防災・防雪対策の要対策区間(平成19年度末見込)

※防災・防雪対策の要対策区間とは
落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩
などのおそれのある区間である

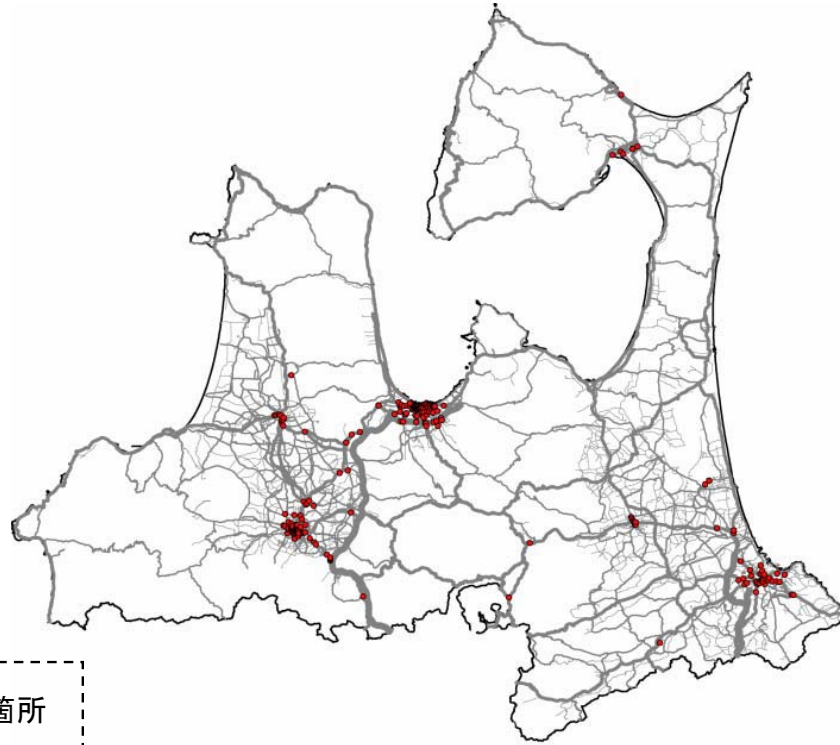


※都道府県道以上の道路を記載

青森県

渋滞対策の要対策箇所(平成18年)

※渋滞対策の要対策箇所とは
日常的に混雑が発生している箇所である



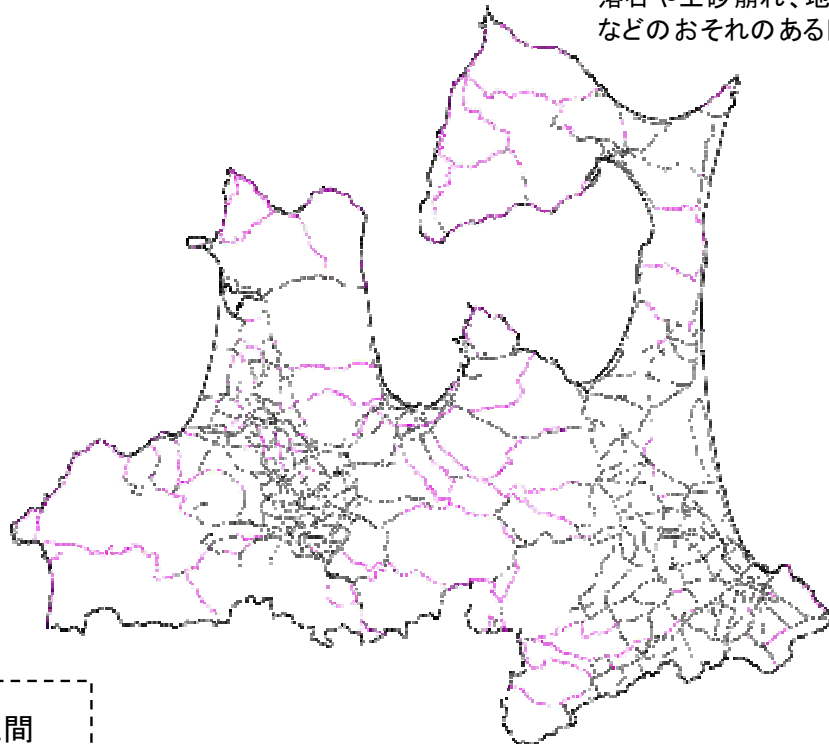
凡例

- 要対策箇所

※幅員が5.5m以上の道路を記載

防災・防雪対策の要対策区間(平成19年度末見込)

※防災・防雪対策の要対策区間とは
落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩
などのおそれのある区間である



凡例

- 要対策区間

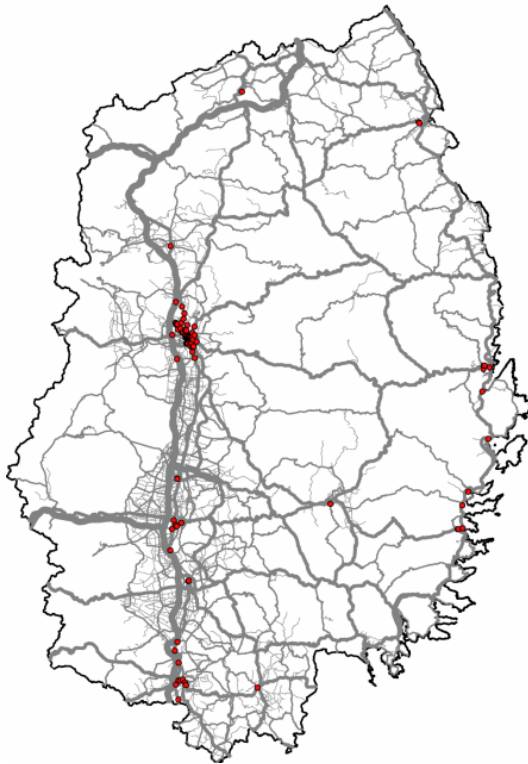
※都道府県道以上の道路を記載



岩手県

渋滞対策の要対策箇所(平成18年)

※渋滞対策の要対策箇所とは
日常的に混雑が発生している箇所である



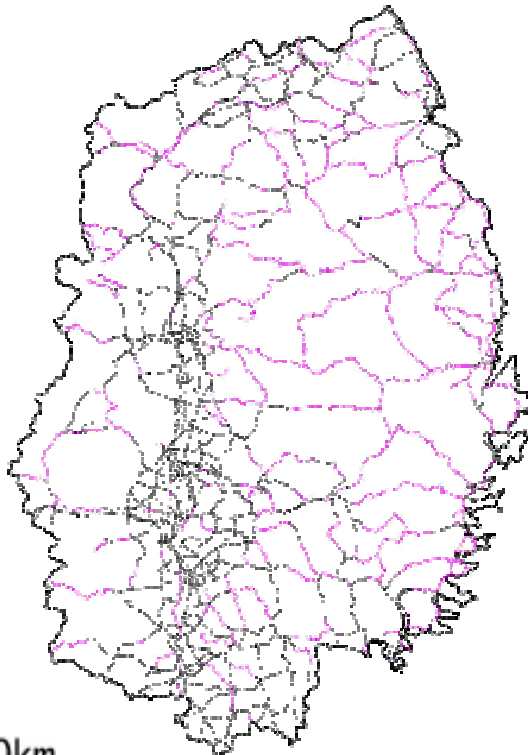
凡例

● 要対策箇所

※幅員が5.5m以上の道路を記載

防災・防雪対策の要対策区間(平成19年度末見込)

※防災・防雪対策の要対策区間とは
落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩
などのおそれのある区間である



凡例

— 要対策区間

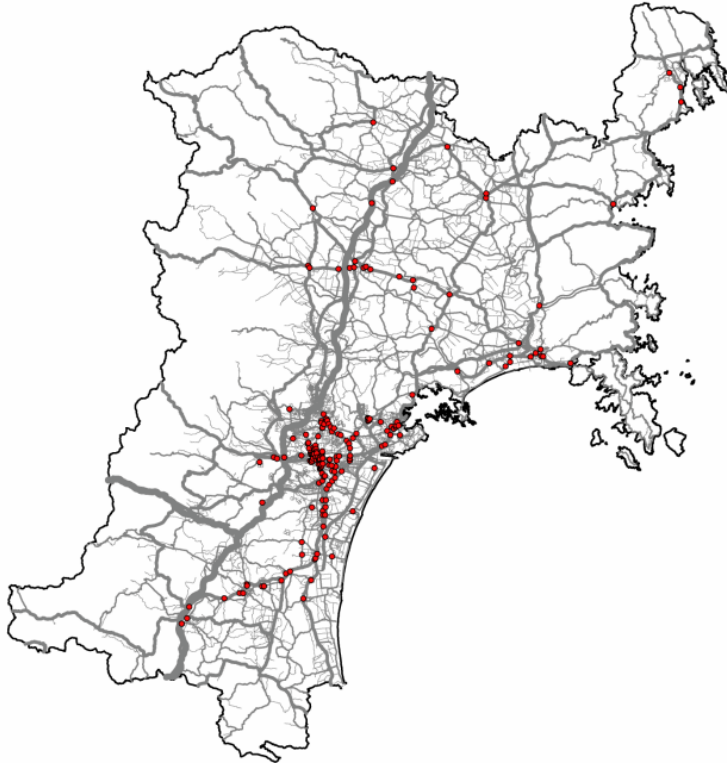
※都道府県道以上の道路を記載

0 50km

宮城県

渋滞対策の要対策箇所(平成18年)

※渋滞対策の要対策箇所とは
日常的に混雑が発生している箇所である



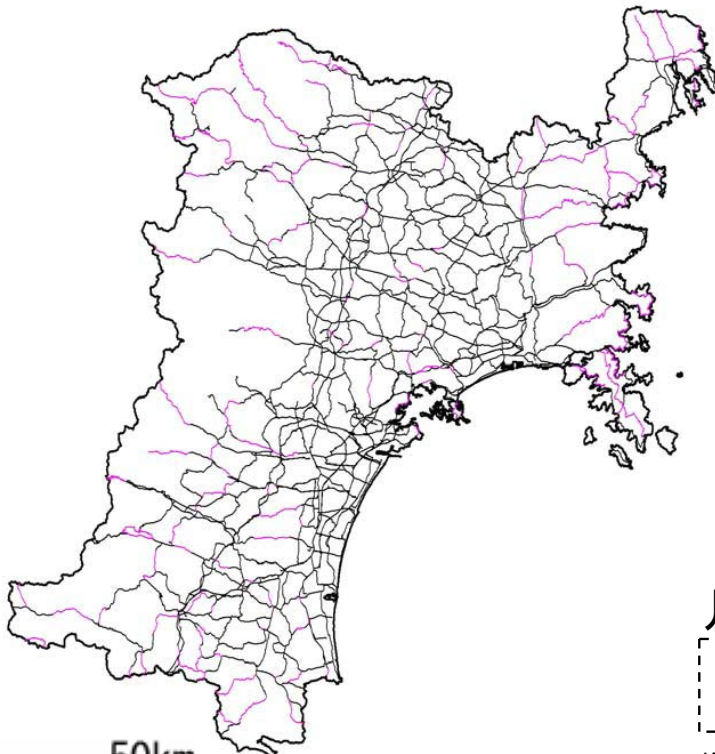
凡例

● 要対策箇所

※幅員が5.5m以上の道路を記載

防災・防雪対策の要対策区間(平成19年度末見込)

※防災・防雪対策の要対策区間とは
落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩
などのおそれのある区間である



凡例

— 要対策区間

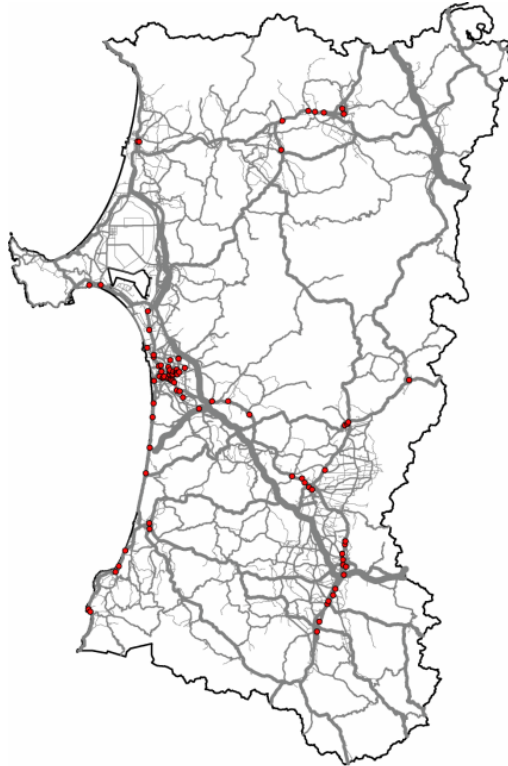
※都道府県道以上の道路を記載



秋田県

渋滞対策の要対策箇所(平成18年)

※渋滞対策の要対策箇所とは
日常的に混雑が発生している箇所である



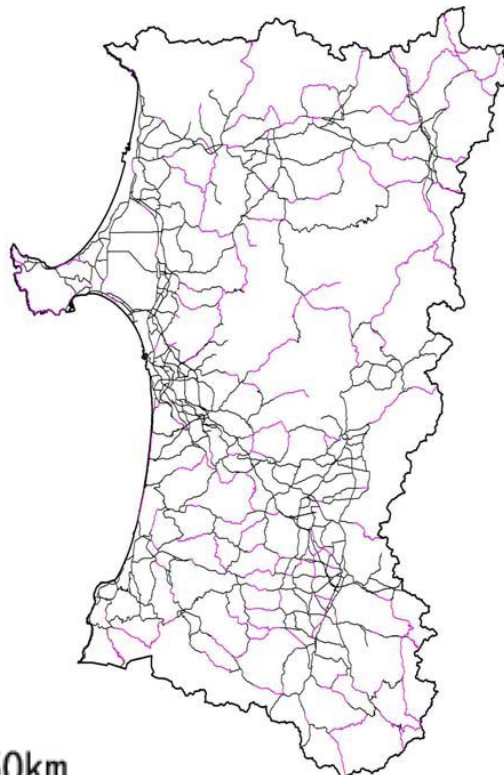
凡例

● 要対策箇所

※幅員が5.5m以上の道路を記載

防災・防雪対策の要対策区間(平成19年度末見込)

※防災・防雪対策の要対策区間とは
落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩
などのおそれのある区間である



凡例

— 要対策区間

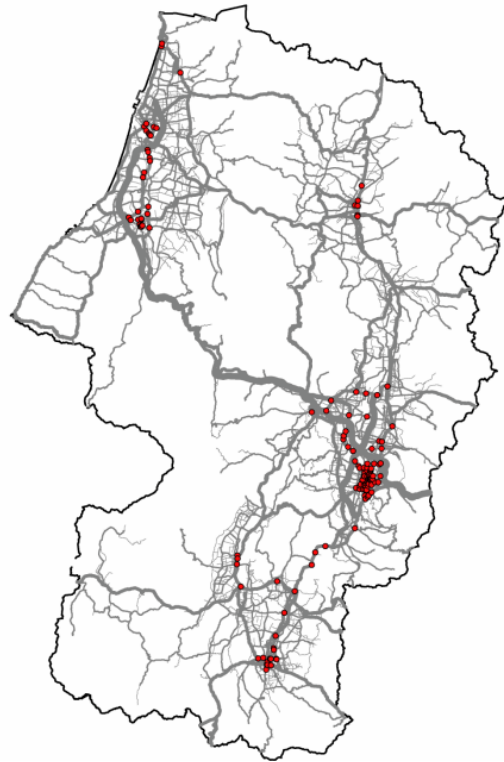
※都道府県道以上の道路を記載



山形県

渋滞対策の要対策箇所(平成18年)

※渋滞対策の要対策箇所とは
日常的に混雑が発生している箇所である



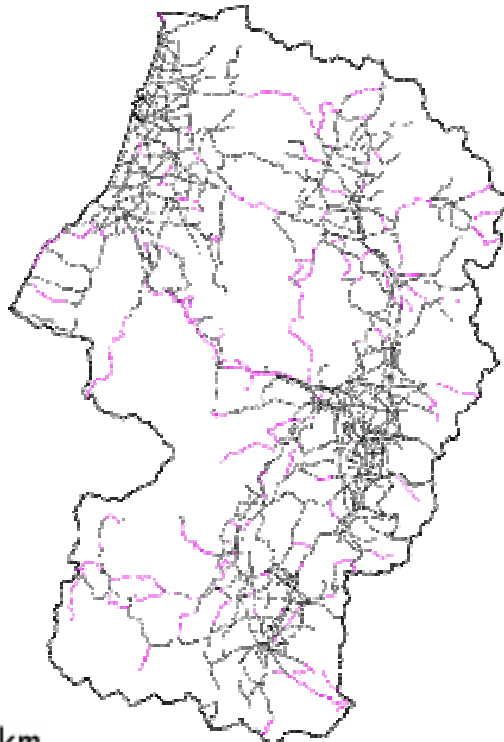
凡例

● 要対策箇所

※幅員が5.5m以上の道路を記載

防災・防雪対策の要対策区間(平成19年度末見込)

※防災・防雪対策の要対策区間とは
落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩
などのおそれのある区間である



凡例

— 要対策区間

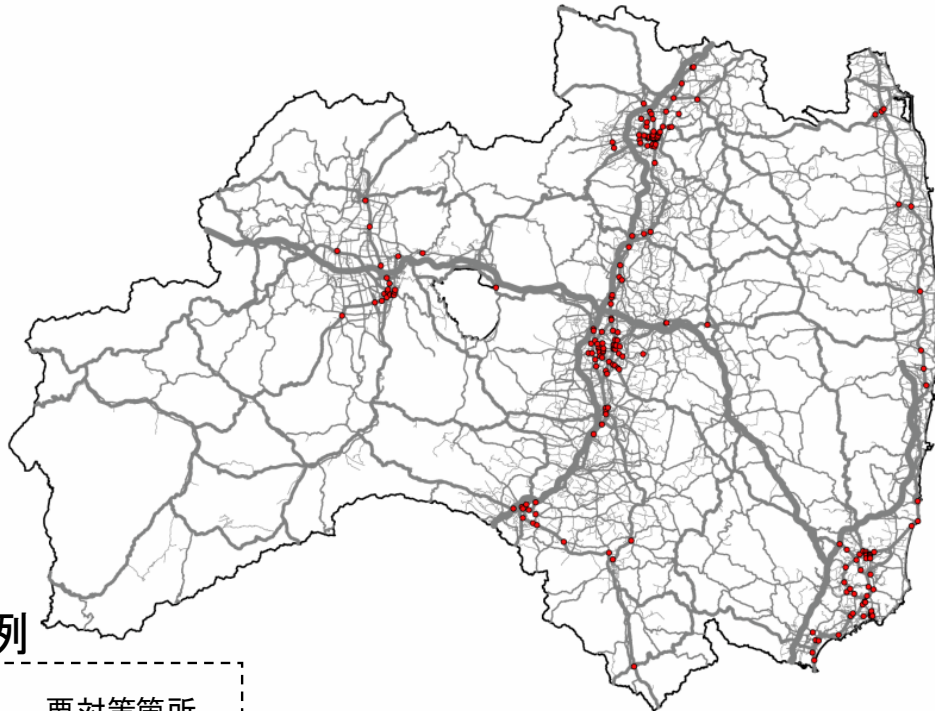
※都道府県道以上の道路を記載



福島県

渋滞対策の要対策箇所(平成18年)

※渋滞対策の要対策箇所とは
日常的に混雑が発生している箇所である



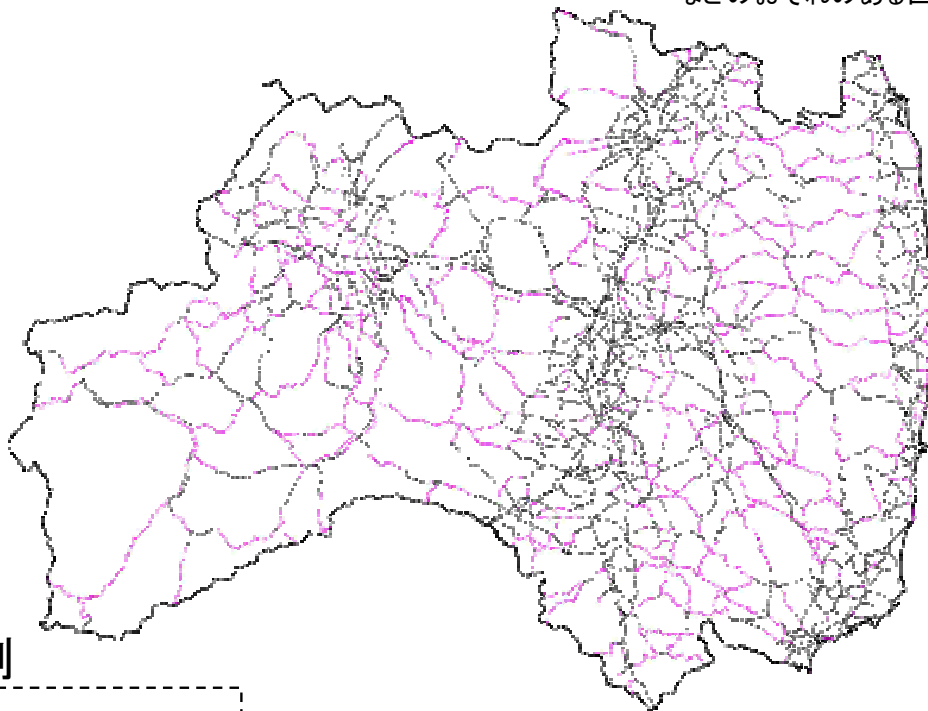
凡例

● 要対策箇所

※幅員が5.5m以上の道路を記載

防災・防雪対策の要対策区間(平成19年度末見込)

※防災・防雪対策の要対策区間とは
落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩
などのおそれのある区間である



凡例

— 要対策区間

※都道府県道以上の道路を記載

